

普及現地情報

発信年月日：平成31年（2019年）4月15日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19001
部門分類：120（麦・大豆・雑穀）
発信者名：小椋、河村

「ミナミノカオリ」の巡回を行いました

甲賀管内では、土壌の比較的排水性が良い麦の主産地である水口地域を中心に21haの「ミナミノカオリ」（パン用小麦）の作付けがあります。4月8日に、生育状況を確認し、赤かび病の防除適期を予測するため、当課とJAこうかで「ミナミノカオリ」の巡回を行いました。

「ミナミノカオリ」は赤かび病に弱いことから、防除を適期である開花期に行く必要があります。開花時期を判断するため出穂期を早めに確認することが重要です。

特に、県内の今作の麦は、暖冬の影響により平年に比べ生育が早まっているため、早期の巡回が重要になってきます。今回の巡回においても、あと2、3日で出穂期を迎えそうなほ場や1割程度出穂しているほ場等、生育の前進が確認され、栽培者に対しては防除時期が早まることに対応していただくようお願いしました。

当課は今後も関係機関と連携しながら、良質な麦の収穫に向けて支援を継続していきます。



生育を確認している様子